

マルチガード

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー又は有機溶媒に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状：粉材と液材からなる。

成分・分量

構成成分	性状	成分
粉材	粉末	ポリエチルメタクリレート、着色剤、その他
液材	液体	BPBG、メタクリル酸メチル、その他

付属品：粉計量カップ、ラバーカップ、スポンジ、スパチュラ、シリンドリッド
紙練板、専用シリンドリッド（2 本）

【使用目的又は効果】

就寝時の歯ぎしりの防止を目的とするナイトガード等の作製に用いる。

【使用方法等】

- ① 粉と液を計量します。標準粉液比は、粉計量カップ目盛 3（約 2.8 g）に対して液スポイト目盛 1.8（約 1.8 mL）です。
- ② ラバーカップにそれぞれ計量した粉、液を入れ、スパチュラで約 15 秒間すばやく混和します。
- ③ 混和物をラバーカップからすばやく紙練板上に移しかえ、専用のシリンドリッドでかきとります。
- ④ あらかじめエアー等で乾燥しておいた下顎両側臼歯部の咬合面に左右均等になるようにシリンドリッドで混和物を盛り上げます。
- ⑤ 臼歯部咬合面が約 1 mm 前後の厚さになるように、前歯部に中心咬合位で軽く綿ロール（L）を咬ませ、そのまま 2～3 分保持します。
- ⑥ 本材が硬化した後、綿ロールを取りはずします。
- ⑦ 前記と同様にして前歯部に本材を盛り上げた後に咬合させ、左右臼歯部の材料を前歯部とつなぎ合わせます。このとき、臼歯部咬合面が不足していた場合には、同時に臼歯部にも盛り上げます。
- ⑧ 前歯部の材料が硬化後、一塊として口腔外に取り出し、内面の不足した箇所前記と同様に混合した本材を流して、再度口腔内に装着し、咬合させます。
- ⑨ 硬化後、余剰分を曲の金冠ハサミで除去します。また、スムーズに着脱できるように、内面の余剰の隣接面部分をバー類で軽く削除します。咬合面の上顎対合歯印記面は、バー類で削除して咬頭が軽く印記されている状態にします。
- ⑩ 形態修正後、水洗・乾燥してから、表面滑沢材“ニュートップコート”を塗布します。塗布面は約 15 分間自然乾燥するか、エアーシリンドリッドで乾燥後、流水下で約 1 分間水洗して完了します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ① 対合歯がレジン歯の場合は、分離剤としてワセリンをあらかじめ塗布しておくこと。
- ② 咬合面や歯頸部に極度のアンダーカットがある場合には、ストッピング等でリリーフしておくこと。

【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により、発疹、湿疹、発赤、腫瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。
- ② 本材が患者の目、皮膚又は衣類に付着しないような措置を講じること。また、適用部位以外の口腔粘膜にはなるべく付着

させないこと。

- ③ 本材が万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせるか、又は受けること。
- * ④ 万一、本材が気道又は食道へ流れ込んだ場合には、直ちに専門医の診断・処置を受けさせること。
本材には X 線造影性がないので、気道に入ると除去が大変困難になります。
- ⑤ 口腔内作業完了後は、直ちに口腔内を十分洗浄する（十分に洗口させる）こと。また、皮膚に付着した場合には、直ちに石鹼を使用し流水で十分洗浄すること。衣類に付着した場合には、直ちにアルコール（綿球）で十分拭き取ること。
- 2) 不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。
- 3) その他の注意
① 感染防止のため、混和カップ、スパチュラ、専用シリンドリッドは清浄なものを使用し、また、使用後はアルコール等で消毒すること。
② 本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
③ 液は可燃性のため、火気近くでの使用や火気近くでの保管は避けること。漏洩した場合はすぐに乾いた布でふき取ること。
④ 本材を使用する際には、適切な保護具を必ず使用し、目、皮膚又は衣類に付着しないよう十分注意すること。なお、医療用（歯科用）手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部の有機溶媒、モノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、液、粉、粉液練和物又は滑沢材が付着した場合には、直ちに手袋を捨て、石鹼を使用し流水で手を十分洗浄すること。
⑤ 本材の硬化体を研削・研磨する際は、集塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し粉塵を吸入しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・本材は、火気、高温、多湿又は直射日光を避けて「0～23℃」で保管すること。
- ・同一保管場所に大量に保管しないこと。また、使用及び保管場所には、消火器を備えること。
- ・粉、液ともに必ず蓋をよく締めて保管すること。

【有効期間】

本材は包装に記載の※使用期限までに使用すること。

[記載の使用期限は自己認証(当社データ)による。]

※（例 Exp. '□□, ○○. は使用期限 2 0 □□年○○月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 亀水化学工業株式会社
電話番号 (フリーダイヤル) 0120-267-720
製造元 亀水化学工業株式会社

取扱説明書等を必ずご参照ください。